

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 北海道江別市立対雁小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒067-0042
江別市見晴台17-1
 E-mail : tsuishikarisyou@ed.city.ebetsu.hokkaido.jp
 Website : _____
 児童生徒数：男子 344名 女子 341名 合計 685名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

職名：教頭
 氏名：今井 正樹 (男)
 E-mail : _____
 ※学校の共用メールアドレスをご記入ください。共用メールアドレスがない場合、個人メールアドレスでも可。

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

江別市立対雁小学校では、今年度も総合的な学習を中心に自然や環境について考える体験学習・調査活動に取り組んできました。以下が、その取り組みの一部です。

3年 「対雁自然調査隊」ネイチャーゲームなど自然に触れる体験をしたり、木の専門家(石狩振興局森林室普及課指導員)を講師に招いて木と人間との関わりについて話を聞いたりしました。また、調べ学習を通し、自然とどのように関わっていくかを考える学習を行いました。例年はアイヌについて講師を招いて学習していましたが、都合が合わなかったため、今年度は火おこし体験を実施しました。

4年 「対雁環境調査隊」

身の回りのゴミ問題について見学や調べ学習を通して、自分たちの身の回りの環境を守るにはどうしたらよいかを考えました。大型店へ見学に行き、ゴミ処理の仕方を調査し、分別やりサイクルの大切さなどを自分の目で実際に確かめました。

「京セラグループ環境出前授業」

太陽電池になる前の「シリコン」を見せてもらったり、太陽電池(パネル)を動力にして実際に車などを動かしてみたりして学習した。パネルにあたる光の角度で車の動きが全然違うことを目の当たりにして驚いていた。

5年 市から寄贈された「対雁の森」を保護・保全する活動を通して、自然と人間の関わりなどについて学習してきました。その後、人間の生活が原因となる環境の変化によって起きている環境問題について調べ学習を進めました。「環境白書」から自分が調べてみたい環境問題について一人一人が課題を持ち、インターネット・本・新聞等を利用して調べ、新聞づくりをしてまとめました。調査活動を通して、環境を守るために自分にできることも考えることができました。

6年 3年生からの総合的な学習の時間に学んだことをもとに地球全体の環境について考える学習を行いました。その中で今年度は、「対雁の森」に自生する「オオウバユリ」からデンプンをとったり、「ハルニレ」の樹皮から繊維を作ったりする体験を行いました。また、5月の遠足の時には史跡めぐりも行いました。江別古文群とチャシを見学し、アイヌの文化や地域の歴史について知ることができました。

次年度からも、これまでの取り組みを生かしつつ、地域の自然や人材を生かした新たな教材の開発をすすめていく予定です。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
- CD-ROM
- 写真
- その他（ ）

・添付資料はありません